

# 看護福祉学部臨床福祉学科A O方式入試

## A O方式 課題レポート

平成31年度 北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科A O方式入学試験

### 課題レポート問題

**問題** 次の文章を読み、自分なりの考えを1200字以内で述べなさい。

65歳以上のうち介護が必要になる人が、7年後の2025年度には全国で現在より約141万人増え、1.22倍の約770万人と推計されることが、47都道府県の介護保険事業支援計画を基にした共同通信の集計で20日、分かった。

25年は団塊の世代が全員75歳以上になり、社会保障費の大幅増が予想されることから「2025年問題」と呼ばれる。介護保険も要介護者数の増加で費用が膨らみ、財源確保策が課題となるほか、サービスの整備や担い手不足への対策が求められそうだ。

介護の必要度は、最も軽い要支援1から最重度の要介護5まで7段階に分かれる。要介護認定を受けた人は17年12月現在では約629万人。

25年度にかけて要介護者が最も急激に増えるのは、千葉県で1.37倍。神奈川県は1.35倍、埼玉県の1.34倍と続く。北海道は平均をやや上回る1.23倍だった。増加幅が小さいのは和歌山、島根両県の1.05倍などだった。

高齢者人口に占める要介護者数の割合（要介護認定率）は、全国平均で17年12月の18.1%から25年度には21.3%に上昇する見通し。最も高くなるのは大阪府で25.9%。次いで京都府が23.9%、愛媛県23.5%などだった。最も低いのは山梨県の17.2%で、茨城県17.9%、静岡県18.3%と続いた。

出典「2018/05/21 北海道新聞朝刊全道」

要介護25年度770万人に\*現在の1.2倍\*財源確保が課題 北海道新聞2018年5月21日（共同通信）  
2018/05/21 北海道新聞朝刊全道 北海道新聞社許諾D2009-2208-00022478